

平成5年度(平成5年3月1日から平成6年2月28日まで)事業計画

特記事項

1. 賛助会員の推挙基準が定款施行細則に明示されたので、この円滑な運用と寄付の積極的な募集。
2. 長期展望検討小委員会(企画委員会)での本会の組織、体制、運営および活動内容全般にわたる具体的審議結果が得られ次第、学界と業界双方にとって魅力ある新しい時代に即した協会への再構築に着手。
3. 境界領域委員会の下に、粉末焼結分科会が発足。また海外研究者講演、国際会議の共催、他学協会との共同活動を推進。
4. 「鉄と鋼」、「ISIJ International」への論文のフロッピー投稿の推進。
5. 育成委員会の新事業として、「日本における鋼の連続鑄造技術史小委員会」の設立および「外国人博士研究員制度」「鉄鋼工学セミナー・アドバンスドコース」の推進。また、「戦後復興期におけるわが国鉄鋼技術の発展」の英文版を刊行。
6. 小規模国際会議の制度を新設し、1会場100人以下の国際会議を弾力的に開催できるようにした。平成6年度として「1F鋼板の金属学」「最近の低炭素高強度鋼のミクロ組織」の各会議を開催するための準備に入る。
7. 「材料設計およびプロセス工学へのコンピューター利用に関する国際会議」「第8回日本・ドイツセミナー」を開催。
8. 共同研究会
 - (1)圧延理論部会トライボロジー小委員会(仮称)を設置。
 - (2)電気炉部会による欧米視察団の派遣。
9. 特基研究会
 - (1)鉄鋼基礎共同研究会の発展的解消により、継続中の研究部会は本研究会へ移管。
 - (2)特定基礎研究会を特基研究会と名称変更。
 - (3)材料電磁プロセッシング部会、コークス製造のための乾留制御部会のシンポジウム開催。
 - (4)循環性元素分離部会の中間報告会開催
 - (5)「鉄鋼スラグの物理化学と再資源化プロセス」、「高炉下部における4流体の移動現象」「高張力鋼の実環境における遅れ破壊感受性の定量的評価法」「鉄鋼材料の諸特性に及ぼす不純物元素(スクラップを起源とする)の影響」を研究テーマとして、4研究部会の発足。
10. 基礎研究会
 - (1)熱プラズマ研究部会、ペイナイト調査研究部会、耐熱強靱チタン研究部会、鉄鋼業における炭酸ガス抑制対策研究部会がシンポジウム開催。
 - (2)鋼中介在物の利用による組織、材質制御をテーマとする研究部会と新環境統合都市研究委員会を引き継ぐネットネストシティー研究部会の発足。
11. 鉄鋼基礎共同研究会の発展的解消に伴い、日本金属学会と共同して鉄鋼・金属研究会を設立運営。両会の共通問題の検討および特基研究会新規テーマおよび部会構成の提言。
12. 鉄鋼JIS 25件について国際整合性の調査、改正・確認・廃止の要否など鉄鋼JIS三者委員会による見直し検討。
13. 第8回ISO/TC 17/EC(執行)を6月上旬パリで開催。
14. 第3回ISO/TC 67/SC 5(油井管)国際会議を9月デュッセルドルフで開催。
15. 中国の標準試料とJSSの交換と相互分析(10品種程度)により、認証値・均質性などの検討を行い、標準試料の二国間共同製造の方向をさぐる。

目

次

I. 会 議	N487
II. 会 員	N489
III. 一般会計による事業	N489
1. 刊行事業	N489
1.1 鉄と鋼	N489
1.2 ISIJ International	N489
1.3 材料とプロセス	N489
1.4 図書の刊行	N489
2. 講演大会	N489
2.1 第125回春季講演大会	N489
2.2 第126回秋季講演大会	N489
3. 育成事業	N489
3.1 最新鉄鋼学術書の出版	N489
3.2 西山記念技術講座	N489
3.3 白石記念講座	N489
3.4 鉄鋼工学セミナー	N489
3.5 学生見学会	N489
3.6 ものづくり教育を考える会	N489
4. 国際交流事業	N489
4.1 国際会議	N489
4.2 小規模国際会議	N489
4.3 二国間シンポジウム	N489
5. 技術調査・研究事業	N490
5.1 共同研究会	N490
5.2 特基研究会	N491
5.3 基礎研究会	N491
6. 鉄鋼技術情報事業	N492
6.1 図書・資料事業	N492
6.2 情報業務事業	N492
6.3 著作物の頒布	N492
7. 標準化事業	N492
7.1 標準規格作成事業	N492
7.2 ISO幹事国事業	N492
7.3 鉄鋼標準試料事業	N493

IV. 特別会計による事業

1. 特別資金会計による事業	N494
1.1 表彰	N494
1.2 湯川メモリアルレクチャー並びに 湯川記念講演会の開催	N494
1.3 石原・浅田研究助成金の交付	N494
1.4 日向方斉学術振興交付金	N494
1.5 浅田記念文庫の寄贈	N494
1.6 戦後技術史調査事業	N494
1.7 鉄鋼研究振興助成金	N494
2. 補助金等事業会計による事業	N494
2.1 鉄鋼二次製品生産設備実態調査	N494
2.2 日本圧力容器研究会議	N494

V. 支 部

1. 事業	
1.1 北海道 支部	N495
1.2 東 北 支部	N495
1.3 北 陸 支部	N495
1.4 東 海 支部	N496
1.5 関 西 支部	N496
1.6 中国四国支部	N497
1.7 九 州 支部	N497
2. 収支予算	N499

VI. 平成5年度収支予算

N500

平成5年度 事業計画

I. 会 議

会 議 名	開催回数	開催月(予定)	議 案
通常総会	1	3月	平成4年度事業報告、収支決算、財産目録 平成5年度事業計画、収支予算、理事、監事、評議員選挙等
評議員会	1	7月、6年2月	平成4年度事業報告、収支決算、財産目録 平成5年度事業計画、収支予算、次期役員候補推薦、役員補欠選挙
理事会	8	3月、4月(2回)、6月、 7月、10月、12月、6年2月	月次事業報告、会計報告、緊急事業計画委員会設置、 評議員会、総会提出議案の決定、表彰者決定等
特別資金運営委員会	1	6年1月	特別資金の決算、予算
次期役員・名誉会員候補選考委員会	3	10月、12月、6年1月	協会役員候補・名誉会員候補選定
一般表彰選考委員会	2	8月、6年1月	協会の一般表彰各賞候補選定
委員長会議		随時	事業運営の基本方針に関する事項
支部長会議	2	4月、10月	支部運営
企画委員会	8	4月、6月、7月、9月、11月、 12月、6年1月、2月	事業計画、定款諸規程の変更立案、予算決定等
会計分科会	8	3月、6月、9月、 11月、12月、6年1月、2月	予算決算、補助金の処置
庶務分科会	3	7月、11月、6年2月	諸規程の変更立案
表彰奨励推薦分科会	3	4月、7月、11月	他の学協会からの依頼による表彰奨励の推薦
長期展望検討小委員会		随時	協会活動、組織、運営等に関する長期展望の立案
編集委員会	6	4月、7月、9月、 11月、12月、6年1月、2月	会誌編集方針の決定、講演大会方針の決定、俵・澤村論文賞の選考、編集委員 構成の検討
和文会誌分科会	11	8月を除く毎月1回	「鉄と鋼」の編集
欧文会誌分科会	11	8月を除く毎月1回	「ISIJ International」の編集
講演大会分科会	6	隔月	講演大会、討論会の企画・実施、「材料とプロセス」の編集
俵論文賞選考小委員会	3	3月、4月、5月	俵論文賞の選考
澤村論文賞選考小委員会	3	3月、4月、5月	澤村論文賞の選考
国際交流委員会	4	3月、6月、9月、12月	国際交流活動の企画・立案・推進
材料設計およびプロセス工学へのコンピューター利用に関する国際会議組織委員会	3	5月、7月、10月	会議運営、フルペーパー審査、プロシーディングス作成
世界製鉄会議組織委員会	2	7月、11月	アブストラクト審査、3rdサーキュラーの検討
材料電磁プロセッシング国際会議組織委員会	2	6月、12月	アブストラクト審査、2ndサーキュラーの検討
第6回日本・中国鉄鋼学術会議組織委員会	1	3月	報告書作成
第8回日本・ドイツセミナー組織委員会	4	4月、7月、9月、11月	会議運営、プロシーディングス作成
日本・カナダセミナー組織委員会	1	9月	企画・立案・推進
各種小規模国際会議組織委員会(5件)	5～ 10	随時	企画・立案・推進
研究委員会	6	隔月	本会の研究業務の企画および調整
研究テーマ小委員会	3	11月、6年1月、3月	主要技術課題の募集・整理・公開 研究テーマの公募・整理・選定・公開
将来研究課題小委員会	2	3月、5月	鉄鋼業の将来研究課題の探索
海洋材料小委員会	4	4月、7月、10月、6年1月	海洋材料開発に関する調査・情報交換
科研費研究小委員会	2	5月、7月	科研費に関する調査・提言

会 議 名	開催回数	開催月(予定)	議 案
鉄鋼研究振興助成金選考委員会	2	3月、11月	助成テーマの募集・選考
国際鉄鋼技術委員会	4	未定	I I S I 総会のパネル討議および技術委員会(TECHCO)への対応等
鉄鋼技術情報センター運営委員会	3	4月、9月、12月	鉄鋼技術情報センター運営に関する件
図書館小委員会	4	3月、5月、9月、12月	デポジットライブラリーの利用拡大 レファレンスサービスの充実 協会における知的財の簡易データベース構築 会員名簿システムへの図書管理データベース構築
プロシーディングス小委員会	4	3月、6月、9月、12月	今後のプロシーディングス購入方法 プロシーディングス掲載文献データベースの普及 データベースの使用マニュアル作成とそのPR 「国際会議資料案内」の体裁と送付先の検討 国際会議サーキュラーの収集・配付のサービス
情報管理研究部会 シンポジウム	4 1	3月、6月、9月、11月 3月	シンポジウム、見学会、講演会 社内資料管理システムのアンケート、社外情報サービス体制のアンケート結果をとりまとめ報告
見学会 講演会	2 1	6月、11月 9月	都庁、特許庁、NHK等 未定
鉄鋼標準化センター運営委員会	3	7月、12月、6年2月	事業計画、予算・決算、等
TC 17諮問部会	3	3月、8月、6年2月	TC17/EC会議の運営及びフォローアップ
TC 17/SC 1諮問部会	4	5月、9月、12月、6年2月	規格案件等
TC 67/SC 5諮問部会	8	随時	規格案件等
標準化委員会	2	9月、6年2月	分科会報告の審議とJIS原案及び協会規格の承認
運営分科会	4	随時	年度計画案作成、各分科会間の調整に関する事項
JP 1分科会	4	〃	構造用鋼に関するJIS原案、ISO規格原案審議
JP 2分科会	4	〃	圧力容器用鋼
JP 3分科会	4	〃	薄板
JP 4分科会	4	〃	特殊鋼
JP 5分科会	4	〃	線材
JP 6分科会	6	〃	鋼管
JP 7分科会	4	〃	油井・油送管
JE 1分科会	4	〃	基本規格
JE 2分科会	4	〃	機械試験方法
JE 3分科会	4	〃	鋼質判定試験方法
JE 4分科会	4	〃	鉄鋼分析
JE 5分科会	4	〃	非破壊試験
SI単位小委員会	4	〃	SI単位に関する事項
鉄鋼JIS三者委員会			
鉄鋼JIS三者小委員会	3	7月、11月、6年2月	JIS原案の承認
鉄鋼分析JIS三者小委員会	2	8月、6年2月	〃
鉄鋼標準試料委員会	1	3月	標準試料の更新及び新製品(特に超高純度鉄)の開発、事業の効率化(一部事業の外部委託)並びに国際化に関する事項
運営部会	4	3月、6月、9月、12月	製造計画、標準値の決定

Ⅱ. 会 員

1. 賛助会員の推挙基準が定款施行細則に明示されたので(平成5年2月26日施行)、この円滑な運用と寄付の積極的な募集。
2. 会員へのサービス向上を目的とした会員管理システムの開発とその充実
3. 会員増キャンペーン(500名の会員増を目標とする)

Ⅲ. 一般会計による事業

1. 刊行事業

1.1 鉄と鋼

Vol.79 No.3～Vol.80 No.2 12冊刊行。

1.2 ISIJ International

Vol.33 No.3～Vol.34 No.2 12冊刊行。

特集号：Transport Phenomena in Packed Beds(No.5)、Surface Modification of Materials(No.9/10)、Physical Metallurgy of Ultralow Carbon Interstitial Free Steels(Vol.34 No.1)

1.3 材料とプロセス

次の6点を発行。

Vol.6 No.1,4(高温プロセス・基盤技術、製鉄・還元、製鋼・精錬、
鑄造・凝固)

No.2,5(計測・制御・システム技術、分析評価・解析技術、
加工・鋼構造物、表面技術、萌芽・境界領域)

No.3,6(材料の組織・性質)

1.4 図書の刊行

次の17点の図書を刊行。

①最近の実用燃焼技術、②材料電磁プロセッシング部会報告、③熱プラズマ研究部会報告、④鉄基複合材料部会報告、⑤鉄鋼業における炭酸ガス抑制対策研究部会報告、⑥極低炭素鋼板研究部会報告、⑦耐熱強靱チタン研究部会報告、⑧製鉄技術検討会報告書、⑨最近のアーケ炉製鋼法の進歩(3版)、⑩耐熱強靱チタン研究部会疲労WG報告書、⑪耐熱強靱チタン研究部会物性WG報告書、⑫組織制御と性質研究部会報告、⑬コークス製造のための乾留制御部会報告、⑭ミクロ組織センサー研究部会報告書、⑮変形特性の予測と制御部会、⑯わが国における鉄鋼リサイクルの現状と今後のあり方(鉄鋼リサイクル白書)、⑰材料データベースにおけるデータ評価モデル

2. 講演大会

2.1 第125回(春季)

講演大会	H5.3.31(水)～4.2(金)	横浜国立大学
懇親会	H5.3.31	新横浜国際ホテル
ジュニアパーティ	H5.4.1	学内食堂
鉄鋼・金属連絡会	H5.4.1	学内会議室

2.2 第126回(秋季)

講演大会	H5.10.16(土)～10.18(月)	名古屋工業大学
懇親会	H5.10.16	場所未定
ジュニアパーティ	H5.10.17	場所未定
見学会	未定	
婦人見学会	未定	
鉄鋼・金属連絡会	H5.10.17の予定	

3. 育成事業

3.1 最新鉄鋼学術書の出版

本年度は1冊を刊行。

3.2 西山記念技術講座

第148回	H5.5.17～18(東京)	圧延におけるトライボロジー
第149回	H5.6.2～3(広島)	〃
第150回	H5.11.25～26(東京)	鉄鋼業における計測・制御技術とその役割
第151回	H6.2.7～8(東京)	ステンレス鋼の製造・利用技術の進歩
第152回	H6.2.24～25(大阪)	〃

3.3 白石記念講座

第24回	H5.6.28(東京)	地球環境・エネルギー問題の現状と将来
第25回	H5.11.30(東京)	地下利用技術の現状と将来

3.4 鉄鋼工学セミナー

第19回 H5.7.24～30(宮城県蔵王町)

3.5 学生見学会

第8回 H5.3.15～18 全国20会場

3.6 ものづくり教育を考える会

平成4年度東北支部を対象として行った製鉄所見学と鉄鋼技術者・研究者との懇談会は、参加高校教諭に大きなインパクトを与え成功であった。これをふまえて平成5年度は、東北、東海、中国・四国、九州の5支部に拡大して実施。

4. 国際交流事業

4.1 国際会議

材料設計およびプロセス工学へのコンピューター利用に関する国際会議をH5.9.6-9に東京・日本都市センターで開催予定。

H6年に開催予定の世界製鉄会議および材料電磁プロセッシング国際会議の2nd Circularを発行、論文(アブストラクト)を募集。

H7年に開催予定の高窒素鋼国際会議に関しては、1st Circularの発行等具体的な準備業務を開始。

4.2 小規模国際会議

5件の開催につき1st Circularの発行等、具体的な準備業務を開始。

4.3 二国間シンポジウム

第8回日本・ドイツセミナーをH5年10月仙台市で開催する予定。

H6年開催予定の日本・カナダセミナーの準備。

5. 技術調査・研究事業

鉄鋼基礎共同研究会の解消に伴い、その継続中の研究部会は特定基礎研究会へ移管。なお、特定基礎研究会は特基研究会と名称を変更。

会 議 名	開催回数	開催月(予定)	議 案
5.1 共同研究会			
運営委員会	2	6月、12月(東京)	共同研究会の運営方針の決定
総務幹事会	2	5月、11月(東京)	共同研究会の運営に関する情報交換
製鉄部会	2	5月(新日鐵・八幡) 11月(NKK・福山)	論文発表(共通・自由議題)・新設改修報告 論文発表(共通・自由議題)・新設改修報告
コークス部会	2	6月(日新・呉) 11月(新日鐵・君津)	論文発表(共通・自由議題)・操業データの交換
製鋼部会	2	3月(NKK・福山) 9月(新日鐵・名古屋)	重点テーマ「タンディッシュメタラジの現状と将来」 重点テーマ 未定
電気炉部会	2	5月(宇部スチール・宇部) 11月(北越メタル・長岡)	共通テーマ「炉外精錬(真空脱ガスを除く)の操業と品質」 共通テーマ 未定
特殊鋼部会	2	4月(川鉄・千葉) 10月(大平洋・八戸)	共通テーマ「耐火物の改善(製鉄炉、取鍋)」 共通テーマ 未定
鋼板部会			
分塊分科会	2	5月(NKK・京浜) 11月(川鉄・水島)	共通議題「合理化計画 Part 2(コスト対策)」 共通議題 未定
厚板分科会	2	5月(新日鐵・君津) 11月(住金・鹿島)	メインテーマ「高精度圧延」 メインテーマ「直行率Part III」
ホットストリップ分科会	2	6月(住金・鹿島) 11月(川鉄・水島)	共通テーマ「直行率向上」 共通テーマ 未定
コールドストリップ分科会	2	6月(新日鐵・広畑) 12月(神鋼・加古川)	共通テーマ「品質保証」 共通テーマ 未定
亜鉛めっき鋼板部会	2	7月(住金・鹿島) 6年1月(日新・堺)	共通テーマ「環境・安全・防災」 共通テーマ 未定
条鋼部会			
大形分科会	2	6月(トピー・豊橋) 11月(合同・大阪)	共通テーマ 未定 共通テーマ 未定
中小形分科会	2	6月(トーア・仙台)	共通テーマ A-Gr「製造コスト」 共通テーマ B-Gr「要員合理化」
線材分科会	2	11月(川鉄・水島) 6月(新日鐵・君津) 11月(大同・知多・星崎)	共通テーマ 未定 共通テーマ「品質保証体制」 共通テーマ 未定
鋼管部会	2	5月(住金・和歌山) 10月(東芝鋼管/日新鋼管)	共通議題「鋼管の仕様処理業務について」 未定
継目無鋼管分科会	1	12月(NKK・本社)	冷間加工技術、自動化・省力化、ローリングスケジュール等
溶接鋼管分科会	1	11月(住金・大阪本社)	未定
高級ラインパイプ専門委員会	2	未定	
圧延理論部会	2	6月(神鋼・神戸総合研) 11月(住金・鹿島)	共通テーマ「薄板・厚板・条鋼圧延・鋼管圧延・成形等、関連基礎技術に関するもの」 共通テーマ 未定
熱経済技術部会	2	6月(日新・呉) 11月(NKK・京浜)	統一議題「プロセス開発のための熱・流体測定解析技術」
耐火物部会	2	6月(神鋼・加古川) 11月(新日鐵・大分)	共通テーマ「取鍋」「補修技術・リサイクル」 共通テーマ 未定
制御技術部会	3	5月(新日鐵・八幡) 9月(日立製作所) 12月(NKK・福山)	研究発表 研究発表 研究発表
品質管理部会	2	7月(トピー・豊橋) 12月(川鉄・千葉)	研究発表(共通議題)、アンケート 研究発表(共通議題)、アンケート
機械試験小委員会	2	6月(住金・鹿島) 11月(新日鐵・君津)	WG報告、研究報告 WG報告、研究報告
非破壊検査小委員会	2	3月(神鋼・神戸) 9月(住金・小倉)	WG報告、研究報告 WG報告、研究報告
運輸部会	1	11月(新日鐵・君津)	「鋼材輸船積み」の現状と今後の方向」

会 議 名	開催回数	開催月(予定)	議 案
調査部会	2	4月、12月(東京)	活動状況報告・討議
鉄鋼分析部会	1	11月(NKK・京浜)	活動状況報告・討議
化学分析分科会	2	6月(東京)	WG報告・研究発表・討議
		11月(部会に同じ)	〃
機器分析分科会	2	5月(東京)	WG報告・研究発表・討議
		11月(部会に同じ)	〃
表面分析小委員会	3	3月、6月、11月(東京)	研究テーマ(4件)の共同試験結果の検討
析出物分析小委員会	4	4月、6月、10月、 6年2月(東京)	微細析出物の物理分析手法を組み合わせた抽出分離定量技術の検討
鋼中微量炭素定量法 研究小委員会	3	3月、6月、9月(東京)	鋼中微量炭素(1~50ppm)の定量方法の検討
設備技術部会			
鉄鋼設備分科会	2	5月(NKK・京浜) 11月(IHI・横浜)	研究発表(共通・自由議題)、アンケート、設備稼働状況
圧延設備分科会	2	5月(川鉄・水島) 11月(住金・鹿島)	「鉄鋼設備における寿命延長技術」 「圧延設備の潤滑管理」
5.2 特基研究会			
運営委員会	2	6月、12月	企画、運営、調整
材料電磁プロセシ ング部会	0		部会報告書作成完了、シンポジウム開催(5月)
鉄基複合材料部会	0		部会報告書作成完了、シンポジウム開催(4月)
コークス製造のため の乾留制御部会	1	10月	活動報告書の作成、シンポジウム開催(10月)
変形特性の予測と制 御部会	3	5月、10月、6年1月(東京)	研究発表、部会報告書作成
鉄鋼の初期凝固研究 部会	3	6月、10月、6年2月	鉄鋼鑄片表面性状を制御、向上させるための凝固現象の解明、研究報告
高純度Fe-Cr合金研 究部会	4	3月、6月、9月、12月	合金の諸特性に及ぼす微量添加元素の影響に関する研究
鉄鋼の表面高機能化部 会	4	4月、7月、9月、6年2月	研究発表
ステンレス鋼の耐候 性部会	4	4月、7月、10月、6年1月	〃
表面処理鋼板の界面 化合物部会	3	5月、10月、6年2月	〃
循環性元素分離部会	3	5月、9月、6年1月(東京)	鋼中のトランプエレメント(特にCu、Snなど)除去に関する基礎研究
鉄鋼の高強度化部会	4	4月、7月、10月、6年2月	研究発表
新規4部会発足		未 定	
5.3 基礎研究会			
運営委員会	2	6月、12月	企画、運営、調整
熱プラズマ研究部会	0		部会報告書作成完了、シンポジウム開催(4月)
ベイナイト調査研究部 会	1	3月	低炭素系鋼のベイナイト(ないし類似)組織の金相学的認識・判定とターミ ノロジー等に関する研究討議、シンポジウム開催
VAMAS材料評価 研究部会	2	6月、12月	材料データ評価モデルによるソフトウェアの開発
耐熱強靱チタン研究部 会	0		研究の部会報告書作成完了、シンポジウム開催(7月、12月)
組織制御と性質研究 部会	2	4月、7月	鉄鋼の組織制御と性質に関する研究
極低炭素鋼板研究部 会	0		部会報告書作成完了(6月)
圧延ロール研究部会	2	7月、12月(東京)	熱間圧延におけるロール摩耗 ステンレス冷間圧延の表面性状
ミクロ組織センサー 研究部会	4	5月、8月、11月、6年2月(東京)	標準サンプルによる粒径の各計測手法による基礎データ収集、部会報告書作成
鉄鋼業における炭酸ガ ス抑制対策研究部会	1	7月	活動報告書の作成、シンポジウム開催(7月)
耐火物の組織評価研 究部会	3	3月、6月、10月	研究発表
高強度鋼板の疲労強 度向上研究部会	4	4月、7月、10月、6年1月	高強度鋼板の疲労強度支配因子と疲労強度向上に関する研究
新規2部会発足		未 定	ネットネスト、鋼中介在物

6. 鉄鋼技術情報事業

6.1 図書・資料事業

- (1) デポジットライブラリーの利用拡大。
- (2) レファレンスサービスの充実。
- (3) 名簿管理システムと図書在庫管理システムの接続。
- (4) 合理的なプロシーディングス購入。
- (5) プロシーディングス掲載文献データベースの普及。
- (6) データベースの使用マニュアル作成とそのPR。
- (7) 「国際会議資料案内」の体裁と送付先の検討。
- (8) 社内資料管理システムのアンケート、社外情報サービス体制のアンケート結果をとりまとめ報告。

6.2 情報業務事業

JICSTの科学技術文献データベースへのインプット目標件数

抄録 4,900件
校閲 6,600件

6.3 著作物の頒布

Ⅲ.1.4の出版企画している17点の出版物ならびに和・欧文会誌、材料とプロセス、西山・白石各講座テキスト、その他特別報告書等の頒布。

7. 標準化事業

7.1 標準規格作成事業

7.1.1 国内規格作成活動

H4年三者構成JIS原案委員会において、改正と決定した鋼管関係規格9件を含めJIS原案作成12件、JIS見直し38件、DIS、CDの投票34件を含む国際規格原案の審議、及びISO会議出席代表の派遣等標準化活動の実施。

(1) 運営分科会

各分科会年度計画の調整、外部審議団体との連携推進、ISO会議派遣社の調整等。

(2) JP 1分科会 (構造用鋼関係)

建築用鋼材の規格化着手。TMCP鋼のISO原案提案検討。JIS溶接構造用耐候性熱間圧延鋼材など4件の見直し審議。

(3) JP 2分科会 (圧力容器用鋼関係)

JIS低温圧力容器用炭素鋼板などH7年見直し時期の来る4規格の見直し調査を開始。

(4) JP 3分科会 (薄板関係)

JISほうろう用脱炭鋼板及び鋼帯の改正とH5年に見直し時期の来るJISみがき特殊帯鋼の見直し調査を開始。TC 17/SC 12のH5年6月ミーティング対応準備。

(5) JP 4分科会 (特殊鋼関係)

JIS機械構造用炭素鋼鋼材等H6年に見直し時期の来る6規格の見直し調査を開始。

(6) JP 5分科会 (線材関係)

JISピアノ線材等H7年に見直し時期の来る4規格の見直し調査を開始。

(7) JP 6分科会 (鋼管関係)

平成4年度で改正を決定した9規格の改正原案の作成。改正に際しては関連又は対応するISO規格の翻訳版を附属書にするかについても検討。

(8) JP 7分科会 (油井・油送管関係)

ISO/TC 67関連の国際会議の対応。

(9) JE 1分科会 (基本規格関係)

JIS検査通則など見直し調査を開始。また、H5年6月以降に予定のTC 17/SC 20国際会議で試験片採取位置に関する技術討議。従ってそのための対応策準備。

(10) JE 2分科会 (機械試験方法関係)

試験方法などJIS改正・制定5件、DIS審議8件継続。

(11) JE 3分科会 (鋼質判定試験方法関係)

焼入性試験方法等3件のJIS見直し審議。

(12) JE 4分科会 (鉄鋼分析)

1) JIS規格関連

G 1253 鉄鋼の発光分光分析方法等7件のJIS見直しを行い、内2件の改正原案を作成。

2) ISO規格関連

TC 17/SC 1の中で日本が担当する3WGのプロジェクトリーダーとして国際共同実験を成功させ、規格原案の作成を完了。

(13) JE 5分科会 (非破壊試験関係)

鋼管の渦流探傷検査方法等3規格の見直し調査を開始。

(14) SI単位小委員会

計量法改訂に伴う諸問題の検討。

7.1.2 ISO規格審議活動

(1) 国際規格原案 (DIS, CD) に対する意見、投票34件 (ほぼ平成4年度なみ)。

(2) 出席予定の国際会議

ISO/TC 17関係 (ECを含む) 及びTC 5関係7件

ISO/TC 67 (SC 5を除く) 関係3件

ISO/TC 67/SC 5関係6件

ISO/TC 164関係5件

(3) ほう素定量方法 (G 1227) のうち「極微量ほう素—蒸留吸光光度法」をISO化するための「提案型国際規格案件」を前年に引き続き審議し、提案原案を作成。

7.1.3 鉄鋼JIS三者委員会

鋼材JIS三者小委員会、鉄鋼分析JIS三者小委員会を設置し、鋼材の寸法及び許容差4件、工具鋼・ばね鋼7件、鋼管9件、分析5件についてJIS改正原案の審議及び見直し調査。

7.2 ISO幹事国事業

7.2.1 会議

(1) 鉄鋼標準化センターが主催する国際会議

1) TC 17/EC: 6月9, 10日、パリ

2) TC 67/SC 5: 9月20, 21日、デュッセルドルフ

(2) 他SC幹事国が主催する国際会議

1) TC 17/SC 4: 6月頃、場所未定

2) TC 17/SC 11: 5月、ワシントン

3) TC 17/SC 12: 6月、マンチェスター

4) TC 17/SC 16: 6月以降、場所未定

5) TC 17/SC 19: 5月、ミラノ

6) TC 17/SC 20: 6月以降、場所未定

7) TC 67: 9月、オランダ

8) TC 67/WG2: 3月 ハノーバ

9) TC 67/SC 1: 9月 デュッセルドルフ

10) TC 67/SC 5/WG 1: 3月、パリ

11) TC 67/SC 5/WG 1: 6月、ニューオーリンズ

12) TC 67/SC 5/WG 1: 10月、場所未定

13) TC 67/SC 5/WG 2: 3または4月 場所未定

14) TC 67/SC 5/WG 3: 3または4月 場所未定

7.2.2 TC 17幹事国業務

平成5年度の重要事項は、第8回TC 17/EC会議の開催、迅速かつタイムリーなISO規格作成のためのTC 17内ガイドの作成、またISO 9000シリーズの鉄鋼ガイドラインのISO規格化検討。

(1) ISO規格の成立目標

審議中の案件87件のうち、平成5年度中に20件のISO規格を制定・改正する予定。

(2) 第8回 TC 17/EC会議

事業報告7.2.1(3)で述べた内容を成果あるものにする。

(3) Strategic policy statementの実施の徹底及びTC 17ガイド (規格作成作業) の作成

第8回 TC17/EC会議での決定に基づき、Strategic policy statementのTC 17内での投票による承認を求めると共に各SCへ周知徹底。さらにTC 17内各SCにて能力に応じた作業項目の優先順位の付与と計画的な規格の制定、改正を目的としたガイドの作成。

(4)TC 17 幹事国業務内容の見直し

新Directivesにに合わせてより有用かつ効率的な業務へとその内容の見直し。そのためのTC17内作業の現状分析実施。

(5)ISO 9000シリーズ補足ガイドのISO規格化検討

ISO 9000シリーズの鉄鋼ガイドラインのISO規格化検討・推進。

(6)TC 17 Pメンバー (EC会議メンバー以外)とのTC 17活動についての討議

主として欧州のTC17 Pメンバー (EC会議メンバー以外)との間にて第8回TC 17/EC会議の決定事項を中心とした討議の実施。

(7)海外出張

TC 17/EC会議、SC国際会議及びTC 17 Pメンバーとの打ち合せのため、延べ13名海外への出張を予定。

7.2.3 ISO/TC 17/SC 1 幹事国業務

(1)第15回ISO/TC 17/SC 1会議の開催(1994-06/10 於 神戸)に向けて準備を行う。

(2)ICASI(International Committee of Analysts of Iron and Steel Industry: (国際鉄鋼分析委員会) 第2回国際会議開催:上記ISO/TC 17/SC 1会議に合わせた日本開催の準備。情報誌(ICASI Information Bulletin)を2回/年発行予定。

(3)国際熟練分析者組織の結成準備:基準分析法の出来る熟練分析者の世界的減少のため、共同実験や標準物質の認証値決定実験に支障を来しつつある。今後の減少を防止し数少ない熟練分析者を国際的に組織して共同実験や標準物質の認証値決定実験を国際的に行えるようにするための原案を作成し、各国関連部門に回付。

(4)下記作業項目の国際共同実験の遂行とWDの作成。

WG 32	ニッケル、銅、コバルト—プラズマ分光法
WG 33	モリブデン、ニオブ、タングステン—プラズマ分光法
WG 34	微量ほう素—吸光度法[日本コンビナ: 河村(コベルコ科研)]
WG 35	微量ほう素—プラズマ分光法
WG 36	高含有硫黄—燃焼赤外線吸収法
CD 10720	窒素—融解導電率法
CD 11652	コバルト—原子吸光法[日本コンビナ: 小野(新日鉄)]
CD 10653	コバルト—電位差滴定法
ad hoc group 1	微量炭素—抵抗炉燃焼赤外線吸収法[日本コンビナ: 岡野(川鉄)]
ad hoc group 2	蛍光X線分析法—化学物質での検量線作成法
Study group	日常作業分析法—発光分光法、蛍光X線分析法

(5)ISO規格の発行。

ISO 10697-2	全カルシウム—原子吸光法
ISO 10698	アンチモン—原子吸光法
ISO 10702	窒素—蒸留滴定法

(6)DISの登録。

DIS 10278	マンガン—プラズマ分光法
DTR 10719	遊離炭素—燃焼赤外線吸収法
DIS 4941	モリブデン—吸光度法
DIS 439	けい素—重量法

(7)他TC/SC との共同作業による規格作成作業の継続。次のWDのCD化。

Joint WG	分析機器ガイドライン
Joint WG	サンプリング (ISO 377-2 の改正)

(8)欧米の規格作成委員会とのliaison 強化

米国 ASTM E01 委員会、欧州 ECIS/TC 20委員会からの招待出席。

(9)海外出張

海外出張を通じ、コンビナーとの接触を密にし、その活動に対し支援を行う。ワーキンググループの進捗状況及びコンビナー支援のため延べ8名の海外出張を予定。

(10)既刊ISO 規格の翻訳版による国内PR。

7.2.4 TC 67/SC 5 幹事国業務

重点項目はH4年10月開催の第2回TC 67/SC 5会議の決定に基づく

WG1、WG2、WG3の活動の支援及び第3回TC 67/SC 5国際会議を成果あるものにする。

(1)TC 67/SC 5/WG 1(フランス)の活動支援

会議開催は3回を予定。

API Spec5D(ドリルパイプ)原案作成。これには現在TC 67/SC 4の取扱いになっているAPI Spec7のツールジョイントの部分を含ませるため、TC 67/SC 5幹事国としてTC 67/SC 4の了承を取るため折衝。

ISO 11960(ケーシング、チュービング)は、API Spec5CTとの整合性を維持するため毎年改正。

(2)TC 67/SC 5/WG 2(ドイツ)及びWG 3(イタリア)の設立、活動支援

参加メンバーの確認。第1回会議の開催準備及び円滑な開催の推進。

(3)第3回TC 67/SC 5国際会議の開催

1993年9月20日~21日、デュッセルドルフ(ドイツがホスト国)

主たる予定議題は、WG1~3で作成した次の原案の討議。

- 1)溶接ツールジョイント付ドリルパイプ(API Spec5D相当)
- 2)油井管継手性能評価試験方法(API RP5C5相当)
- 3)耐食性油井管(高合金鋼及びNi基合金)

(4)海外出張

WG活動支援及び第3回TC 67/SC 5国際会議のため、延べ5名の海外への出張を予定。

7.3 鉄鋼標準試料事業

7.3.1 新製品

(1)微量元素シリーズA(機器分析用)8品種1組——平成5年度内に頒布開始予定

(2)アルガロボレット

7.3.2 更新(平成5年度に頒布開始予定の主なもの)

(1)高純度鉄1種(JSS001)——不純分20ppm以下

(2)高純度酸化鉄(JSS009)

(3)焼結鉄(JSS851)

(4)炭素鋼シリーズ(機器分析用)

7.3.3 内規の改定

国としての標準物質認証体系の具体化に寄与するとともに新制度発足後直ちに適用をうけられるようISO/REMCOのGuideに可及的に準拠した内規の再整備——この改定された内規を用いて講習会の開催(分析所の認定)。

7.3.4 国際化の推進

(1)中国との交流

中国のCRMとJSSを相互交換して試料内容(標準値、均質性等)を検討し、今後における標準試料関係業務の効率化を図る。

(2)欧米との交流

ICASIを通じて標準値の決め方について討議。

Ⅳ. 特別会計による事業

1. 特別資金会計による事業

1.1 表彰

渡辺義介賞、西山賞、服部賞、香村賞、渡辺三郎賞、野呂賞、渡辺義介記念賞、西山記念賞、日本金属学会・日本鉄鋼協会奨学賞の授与
1回 4月

浅田賞、三島賞、林賞、山岡賞、俵論文賞、澤村論文賞、里見賞
(外部資金の受入れによる)の授与 1回 10月

1.2 湯川メモリアルレクチャー並びに湯川記念講演会の開催

湯川メモリアルレクチャーは、H5.3.31 横浜国立大学において開催
の予定。湯川記念講演会は支部主催により随時。

1.3 石原・浅田研究助成金の交付 1回

1.4 日向方斉学術振興交付金 2回

1.5 浅田記念文庫の寄贈 3回

1.6 戦後技術史調査事業 英文編の出版。

1.7 鉄鋼研究振興助成金

第2回の助成として、平成4年度分と平成5年度分で総額4110万円を40人に交付する。(平成4年度の2年次分：1300万円、20人、平成5年度の初年次分：2810万円、20人)第3回助成金交付のため、平成6年度の助成テーマの公募(「鉄と鋼」5月号にて会告)を行う。

2. 補助金等事業会計による事業

2.1 鉄鋼二次製品生産設備実態調査

生産設備能力の実態調査の整理と報告書の作成

2.2 日本圧力容器研究会議

会 議 名	開催回数	開催月(予定)	議 案
日本圧力容器研究会議 運営委員会	3	3月、6月、12月	企画、運営、調整
圧力容器用鋼材専門委員会	4	未定	構造用鋼の冷間加工特性
水素脆化専門委員会	4	未定	C-1/2Mo鋼の水素侵食材の材料評価他1テーマ
非破壊試験専門委員会	4	未定	集束探触子を用いた新探傷手法の開発と探傷精度調査
データ収集委員会	4	未定	Cr-Mo鋼の経年劣化材料データベースの構築
MPC委員連絡会	2	未定	MPC関連の情報交換と戦略的対応

V. 支部

1. 事業

1.1 北海道支部

1) 運営関係

- (1) 総 会 H5.6.,H6.1.(以降毎年1月定例)
 (2) 評議員会 2回開催。H5.6.,H6.1.
 (3) 理 事 会 2回開催。H5.10.,H6.1.

2) 事業関係

(1) 研究会

名 称	共催・後援団体	開催日	会 場	主な内容
素材製造技術研究会	日本金属学会北海道支部	H5.7.	札 幌	特別講演、一般講演
〃	〃	H5.12.	室 蘭	特別講演、一般講演
鋼材・新素材研究会	〃	H5.7.	札 幌	特別講演、一般講演
〃	〃	H5.12.	室 蘭	特別講演、一般講演

(2) 講演会・講習会・シンポジウム

名 称	共催・後援団体	開催日	会 場	講師等	参加者数
湯川記念講演	日本金属学会北海道支部	H5.6.17	室蘭工業大学	未 定	
〃	〃	H 6.1.	北海道大学	未 定	
春季講演大会	〃	H5.6.17	室蘭工業大学	特別講演 一般講演	
秋季講演大会	〃	H6.1.	北海道大学	企画講演 一般講演	

(3) その他事業

支部創立50周年記念行事 H5.6.17 室蘭工業大学 記念講演
 H5.6.17 室 蘭 祝賀会
 H5.6. 記念誌の発行

1.2 東北支部

1) 運営関係

- (1) 総 会 H6.2.
 (2) 評議員会 H6.2.
 (3) 理 事 会 2回開催。H5.7.,H6.2.

2) 事業関係

(1) 研究会

名 称	共催・後援団体	開催日	会 場	主な内容
第7回プロセス工学研究会		H5.	東北大学素材研	未定
第1回還元研究会		H5.5.14	東北大学素材研	

(2) 講演会・講習会・シンポジウム

名 称	共催・後援団体	開催日	会 場	講師等	参加者数
湯川記念講演会		H5.12.	秋田地区	未定	約80名
第30回金属関係六学協会 東北支部連合シンポジウム	日本金属学会、溶接学会 日本鋳物協会、 資源・素材学会各東北支部 軽金属学会東北センター	H5.11.	東北大学工学部 青葉記念会館	未定	約100名
第1回地区講演会	日本金属学会東北支部	H5.	盛岡・八戸地区	未定	約50名
第2回地区講演会	〃	H5.	仙台地区	未定	約50名
特別講演会	日本金属学会東北支部 仙台市博物館	H5.3.24	仙台市博物館	呉 坤儀	

1.3 北陸支部

1) 運営関係

- (1) 総 会 H5.12.10
 (2) 評議員会 2回開催。H5.6.1,H5.12.10
 (3) 理 事 会 2回開催。H5.6.1,H5.12.10

2)事業関係

(1)研究会

名 称	共催・後援団体	開催日	会 場	主な内容
富山地区「材料部会」		4回		
富山地区研究会		2回		
石川地区研究会		2回		
新潟・長岡地区研究会		2回		
福井地区研究会		2回		
(長野地区研究会)		(2回)		

(2)講演会・講習会・シンポジウム

名 称	共催・後援団体	開催日	会 場	講師等	参加者数
湯川記念講演会	日本金属学会北陸信越支部	H5.6.1	富山大学	森田 幹郎 小島 陽	約50名
学術講演会	〃	H5.6.15	富山大学	龍山 智榮	約50名
(本多光太郎記念特別講演会)	(日本金属学会主催)	(H5.12.10)		未 定	
支部連合講演会	日本金属学会北陸信越支部	H5.12.10	予定信州大学	展 示 会	

1.4 東海支部

1)運営関係

(1)総 会 H5.3.11

(2)評議員会 なし

(3)理 事 会 5回開催。H5.3.11,H5.5.,H5.8.,H5.10.,H6.2.

2)事業関係

(1)研究会

名 称	共催・後援団体	開催日	会 場	主な内容
若手冶金エンジニア研究会		3回		
若手材料研究会		3回 (H5.5.20～)		

(2)講演会・講習会・シンポジウム

名 称	共催・後援団体	開催日	会 場	講師等	参加者数
学術討論会		H5.6.4	名古屋大学シンポジオン		
特別講演会		2回			
湯川記念講演会		H5.3.11			
〃		H5.9.			
(本田記念講演会)	(金属学会主催)	(1回)			
金属材料談話会		4回			
材料プロセッシング談話会		4回			

(3)育成事業

学生による材料フォーラム H5.12.

(4)その他事業

'93秋季講演大会実行委員会 適宜

支部創立50周年記念講演会および祝賀会 H5.10.14

1.5 関西支部

1)運営関係

(1)総 会 H5.3.29

(2)評議員会 2回開催。H5.3.,H5.9.

(3)理 事 会 5回開催。H5.3.,H5.7.,H5.9.,H5.11.,H6.2.

(4)各種委員会

①企画小委員会 2回

②学術運営小委員会 2回

③財務広報小委員会 2回

④材料評価セミナー運営委員会 3回

⑤支部小史編纂委員会 4回

2)事業関係

(1)研究会

名 称	共催・後援団体	開催日	会 場	主な内容
材料物性工学談話会		4回		
鉄鋼プロセス研究会		4回		
材料開発研究会		4回		
材料化学研究会		3回		
関西分析研究会		3回		

(2)講演会・講習会・シンポジウム

名 称	共催・後援団体	開催日	会 場	講師等	参加者数
第1回湯川記念講演会		H5.3.			
(本多記念講演会)		(H5.7)			
第2回湯川記念講演会		H5.9.			
関西支部講演会		H5.11.			
〃		H6.2.			
材料評価セミナー					
①化学的評価					
②組織観察					
③X線回折					
④表面分析					

(3)見学会 2回

(4)その他の事業：懇親会 1回

1.6 中国四国支部

1)運営関係

- (1)総 会 H5.3.17
- (2)評議員会 1回開催。H5.6.
- (3)理 事 会 2回開催。H5.8.5,H6.2.

2)事業関係

(1)研究会

名 称	共催・後援団体	開催日	会 場	主な内容
金属物性研究会	日本金属学会中国四国支部	3回	未 定	
材質制御技術研究会	〃	3回	未 定	

(2)講演会・講習会・シンポジウム

名 称	共催・後援団体	開催日	会 場	講師等	参加者数
学術講演会	日本金属学会中国四国支部	H5.3.17	東方2001	宮田 順 中谷 功	
学術講演会	〃	H5.8.6	岡山大学	橋本初次郎 竹内 英麿	
支部講演大会	〃	H5.8.5	岡山大学		
分析化学講習会	日本分析化学会中国四国支部	未定	未定		

(3)見学会 H5.8.6 場所：未定（共催・後援：日本金属学会中国四国支部）

1.7 九州支部

1)運営関係

- (1)総 会 H5.6.4
- (2)評議員会 H5.6.4
- (3)理 事 会 3回開催。H5.6.4,H5.8.20,H5.12.17(常任理事会)

2)事業関係

(1)研究会

名 称	共催・後援団体	開催日	会 場	主な内容
材料科学談話会		7～9回／年	未 定	未 定
材料工学談話会		5～7回／年		
材料プロセス談話会		4～6回／年		

(2)講演会・講習会・シンポジウム					
名 称	共催・後援団体	開催日	会 場	講師等	参加者数
78回学術講演会	日本金属学会	H5. 6 . 4	九州大学		
80回講演討論会	〃	H5. 9 .17	九州工業大学	未 定	
81回講演討論会	〃	H5.12. 3	新日鐵大分	未 定	
46回湯川記念講演会	〃	H5. 9 .17	九州工業大学	未 定	
47回湯川記念講演会	〃	H5.12. 3	新日鐵大分	未 定	

(3)見学会 新日鐵八幡製鐵所(開催日：未定)

2. 収支予算

収入の部

(単位：円)

科 目	合 計	北 海 道	東 北	北 陸	東 海	関 西	中国四国	九 州
本 部 補 助 金	6,576,000	451,000	456,000	335,000	850,000	2,050,000	1,270,000	1,164,000
(基 本 補 助 金)	1,780,000	200,000	200,000	200,000	240,000	400,000	300,000	240,000
(会 費 補 助 金)	3,496,000	151,000	156,000	85,000	510,000	1,400,000	870,000	324,000
(研 究 補 助 金)	1,300,000	100,000	100,000	50,000	100,000	250,000	100,000	600,000
会 費	1,111,000	0	0	0	516,000	0	595,000	0
参 加 費	440,000	50,000	0	0	240,000	150,000	0	0
他 団 体 分 担 金	575,000	15,000	60,000	0	0	0	0	500,000
利 子 収 入	279,900	40,000	2,000	500	0	200,000	0	37,400
雑 収 入	324,000	0	0	0	24,000	0	0	300,000
支 部 繰 入 金 収 入	1,500,000	0	0	0	1,500,000	0	0	0
当 期 収 入 合 計 (A)	10,805,900	556,000	518,000	335,500	3,130,000	2,400,000	1,865,000	2,001,400
前 期 繰 越 収 支 差 額 (B)	13,242,059	1,052,548	491,011	306,210	3,022	4,109,417	5,378,235	1,901,616
収 入 合 計 (A+B)	24,047,959	1,608,548	1,009,011	641,710	3,133,022	6,509,417	7,243,235	3,903,016
(参考) 湯川記念講演会受託費	1,750,000	300,000	300,000	0	250,000	300,000	300,000	300,000

支出の部

事 業 費								
研 究 会 費	1,600,000	300,000	100,000	50,000	120,000	630,000	100,000	300,000
講 演 会 ・ 講 習 会 費 等	2,530,000	180,000	250,000	100,000	900,000	0	200,000	900,000
見 学 会 費	150,000	0	50,000	0	0	0	100,000	0
湯川記念講演会支出超過分	110,000	0	0	0	0	10,000	50,000	50,000
そ の 他 事 業 費	350,000	0	0	100,000	0	150,000	0	100,000
支 部 創 立 記 念 事 業 費	1,925,000	0	0	0	1,500,000	425,000	0	0
事 業 費 合 計 (C)	6,665,000	480,000	400,000	250,000	2,520,000	1,215,000	450,000	1,350,000
管 理 費								
会 議 費	1,157,000	100,000	50,000	60,000	132,000	360,000	155,000	300,000
旅 費 交 通 費	575,500	6,500	40,000	60,000	24,000	250,000	195,000	0
事 務 費	1,827,000	0	20,000	5,000	210,000	700,000	692,000	200,000
通 信 費	405,000	20,000	20,000	15,000	90,000	160,000	70,000	30,000
印 刷 費	425,000	30,000	10,000	5,000	60,000	160,000	160,000	0
雑 費	196,500	13,500	10,000	5,000	48,000	70,000	50,000	0
管 理 費 合 計 (D)	4,586,000	170,000	150,000	150,000	564,000	1,700,000	1,322,000	530,000
予 備 費 (E)	1,407,570	958,548	50,000	0	49,022	300,000	0	50,000
支 出 の 部 合 計 (C+D+E)	12,658,570	1,608,548	600,000	400,000	3,133,022	3,215,000	1,772,000	1,930,000
次 期 繰 越 収 支 差 額	11,389,389	0	409,011	241,710	0	3,294,417	5,471,235	1,973,016

平成5年度(自 平成5年3月1日
至 平成6年2月28日)収支予算

平成5年度収支予算総括表

費 目		一般会計Ⅰ	別途資金会計Ⅱ			補助金等事業会計Ⅲ	合 計 Ⅰ+Ⅱ+Ⅲ
			特別資金(ア)	積立金等(イ)	小計(ア)+(イ)		
収入の部	会 費 収 入	666,188,680	0	0	0	0	666,188,680
	事 業 収 入	392,274,720	0	0	0	0	392,274,720
	補 助 金・受 託 金 収 入	0	0	0	0	3,000,000	3,000,000
	寄 付 金・負 担 金・分 担 金 収 入	0	0	2,153,000	2,153,000	4,669,799	6,822,799
	利 子・雑 収 入	10,400,000	62,130,000	16,940,000	79,070,000	500,000	89,970,000
	繰 入 金 収 入	0	5,000,000	25,700,000	30,700,000	0	30,700,000
	当 期 収 入 合 計 (A)	1,068,863,400	67,130,000	44,793,000	111,923,000	8,169,799	1,188,956,199
	前 期 繰 越 収 支 差 額	49,995,483	1,054,373,487	358,194,734	1,412,568,221	19,781,990	1,482,345,694
	収 入 合 計 (B)	1,118,858,883	1,121,503,487	402,987,734	1,524,491,221	27,951,789	2,671,301,893
支出の部	事 業 費	905,667,600	86,905,100	0	86,905,100	10,025,660	1,002,598,360
	管 理 費	160,862,000	0	13,388,400	13,388,400	0	174,250,400
	繰 出 金 支 出	30,700,000	0	0	0	0	30,700,000
	予 備 費	21,629,283	0	0	0	0	21,629,283
	当 期 支 出 合 計 (C)	1,118,858,883	86,905,100	13,388,400	100,293,500	10,025,660	1,229,178,043
	当 期 収 支 差 額 (A-C)	- 49,995,483	- 19,775,100	31,404,600	11,629,500	- 1,855,861	- 40,221,844
	次 期 繰 越 収 支 差 額 (B-C)	0	1,034,598,387	389,599,334	1,424,197,721	17,926,129	1,442,123,850

平成5年度

別途資金会計収支予算内訳表・補助金等事業会計収支予算内訳表

科 目		特 別 資 金									
		表彰ならびに 事業資金 (6,915万円)	渡辺義介 記念資金 (1,000万円)	西山弥太郎 記念資金 (5,000万円)	湯川正夫 記念資金 (3,000万円)	浅田長平 記念資金 (5,000万円)	白石元治郎 記念資金 (5,000万円)	日向方育 学術振興資金 (6,000万円)	研 究 振興資金 (292万円)	外島健吉 記念資金 (10,000万円)	鉄鋼研 振興資 (54,350万)
収入の部	補 助 金・受 託 金 収 入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	寄 付 金・負 担 金・分 担 金 収 入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	利 子・雑 収 入	3,950,000	640,000	2,580,000	2,280,000	3,350,000	3,400,000	2,900,000	180,000	5,440,000	37.4
	繰 入 金 収 入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5.0
	当 期 収 入 合 計	3,950,000	640,000	2,580,000	2,280,000	3,350,000	3,400,000	2,900,000	180,000	5,440,000	42.4
	前 期 繰 越 収 支 差 額	88,526,285	15,801,430	49,619,742	50,711,700	52,414,548	59,439,117	56,645,056	4,468,174	104,372,201	572.3
	収 入 合 計	92,476,285	16,441,430	52,199,742	52,991,700	55,764,548	62,839,117	59,545,056	4,648,174	109,812,201	614.7
支出の部	表 彰 費・調 査・研 究 費	4,090,000	360,000	360,000	0	1,100,000	0	0	0	0	0
	記 念 講 座 費・講 演 会 費	0	0	5,795,700	5,500,000	0	2,899,400	0	0	0	0
	浅田記念文庫費、出版費	0	0	0	0	1,000,000	0	0	0	20,000,000	0
	研究助成金、学術振興費	500,000	0	0	0	500,000	0	3,500,000	0	0	41.3
	小 計	4,590,000	360,000	6,155,700	5,500,000	2,600,000	2,899,400	3,500,000	0	20,000,000	41.3
	退 職 金・退 職 一 時 金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	退 職 年 金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小 計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	繰 出 金 支 出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	予 備 費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	当 期 支 出 合 計	4,590,000	360,000	6,155,700	5,500,000	2,600,000	2,899,400	3,500,000	0	20,000,000	41.3
	当 期 収 支 差 額	-640,000	280,000	-3,575,700	-3,220,000	750,000	500,600	-600,000	180,000	-14,560,000	1.1
	次 期 繰 越 収 支 差 額	87,886,285	16,081,430	46,044,042	47,491,700	53,164,548	59,939,717	56,045,056	4,648,174	89,812,201	573.4

平成5年度一般会計収支予算内訳表

支出の部			収入の部			(単位：円)	
事業別	費目	金額	事業別	費目	金額		
編集・業務事業費	境界領域委員会費	5,987,000	編集・業務事業収入	和文誌分譲収入	22,000,000		
	編集委員会費	2,286,000		広告収入	19,000,000		
	和文会誌費	103,590,000		その他事業収入	300,000		
	欧文会誌費	43,890,000		用紙積立金繰入	0		
	材料とプロセス費	21,293,000		小計	41,300,000		
	その他刊行費	8,220,000		欧文誌分譲収入	14,000,000		
	講演大会費	19,855,000		広告収入	500,000		
	小計	199,134,000		補助金収入	9,100,000		
	育成委員会費	1,162,280		その他事業収入	100,000		
	西山技術講座費	12,264,100		小計	23,700,000		
	白石記念講座費	3,885,900		材料とプロセス分譲収入	33,000,000		
	鉄鋼工学セミナー費	21,624,800		広告収入	3,200,000		
	学生見学会費	20,182,990		小計	36,200,000		
	ものづくり教育費	4,058,350		その他刊行物分譲収入	3,200,000		
	知的財活用費	1,468,560					
	小計	64,646,980		講演大会参加費収入	4,790,000		
	会員管理費	3,995,700		広告収入	250,000		
	支部関係費	6,608,000		小計	5,040,000		
	以上計	280,371,680		西山テキスト分譲収入	6,168,400		
	人件費	68,560,000		広告収入	300,000		
	管理費	15,993,000		西山記念資金繰入	5,795,700		
国際事業費	計	364,924,680	国際事業収入	小計	12,264,100		
	国際交流委員会費	358,800		白石テキスト分譲収入	786,500		
	コンピュータ国際会議費(93)	17,659,800		広告収入	200,000		
	世界製鉄会議(94)	3,443,200		白石記念資金繰入	2,899,400		
	材料電磁プロセス国際会議(94)	800,400		小計	3,885,900		
	日独シンポジウム費(93)	5,186,700		鉄鋼工学セミナー参加費収入	21,758,100		
	集金事業準備費	5,251,900		学生見学会分損金	15,674,300		
	以上計	32,700,800		計	163,022,400		
	人件費	47,528,000		コンピュータICテキスト分譲収入	900,000		
	管理費	6,154,000		コンピュータIC参加費収入	15,000,000		
技術調査研究事業費	計	86,382,800	技術調査研究事業収入	小計	15,900,000		
	研究委員会費	3,782,000		日独シンポジウム参加費収入	1,520,000		
	共同研究会費	36,783,000					
	特基研究会費	60,150,000		計	17,420,000		
	基礎研究会費	12,283,000					
	国際鉄鋼技術委員会費	1,560,000					
	以上計	114,558,000					
	人件費	36,491,000					
	管理費	13,533,000					
	計	164,582,000					
鉄鋼技術情報事業費	鉄鋼技術情報センター運営委員会費	1,020,800	鉄鋼技術情報事業収入	図書館サービス収入	5,774,000		
	図書・資料業務費	15,369,000		頒布収入	6,240,000		
	情報業務費	4,830,000		情報業務収入	14,646,000		
	以上計	21,219,800		計	26,660,000		
	人件費	40,501,000					
	管理費	42,885,000					
	計	104,605,800					
鉄鋼標準化センター事業費	鉄鋼標準化センター運営委員会費	3,081,300	鉄鋼標準化センター事業収入及び分損金	鉄鋼標準試料収入	60,000,000		
	標準化委員会費	8,439,570		補助金収入	8,100,000		
	鉄鋼標準試料費	49,467,000		標準化事業分損金	117,072,320		
	TC17業務費	14,267,000		計	185,172,320		
	TC17/SC1業務費	9,742,000		事業収入合計	392,274,720		
	TC67/SC5業務費	5,945,000		正会員会費	89,591,000		
	鉄鋼JIS三者委員会費	1,271,450		学生会員会費	510,000		
	以上計	92,213,320		外国会員会費	7,350,000		
	人件費	60,712,000		維持会員会費	568,737,680		
	管理費	32,247,000		会費収入合計	666,188,680		
管理費	計	185,172,320	会費収入	会費収入合計	10,400,000		
	事業費合計	905,667,600		利子・雑収入			
	人件費	108,003,000					
	一般管理費	42,859,000					
	名簿構築費	10,000,000					
	管理費合計	160,862,000					
	繰出金支出	※ 30,700,000					
	予備費	21,629,283					
	当期支出合計	1,118,858,883					
	繰入金支出						
	繰入金合計	1,118,858,883					
繰入金合計		1,118,858,883	繰入金合計		1,118,858,883		

※退職積立金 ¥20,000,000 退職年金積立金 ¥5,700,000 鉄鋼研究振興資金 ¥5,000,000

f金合計 (7万円)	積立金等						補助金等事業		
	基本金	退職積立金	退職年金積立金	厚生資金積立金	会館資金積立金	国際会議積立金	別途資金合計	日本圧力容器研究会議	補助金等事業合計
0	0	0	0	0	0	0	0	0	3,000,000
0	0	0	2,153,000	0	0	0	2,153,000	3,611,666	1,058,133
1,130,000	510,000	5,420,000	6,930,000	1,100,000	540,000	2,440,000	16,940,000	500,000	0
1,000,000	0	20,000,000	5,700,000	0	0	0	25,700,000	0	0
1,130,000	510,000	25,420,000	14,783,000	1,100,000	540,000	2,440,000	44,793,000	4,111,666	4,058,133
1,373,487	11,101,327	96,685,475	149,714,382	35,873,497	11,659,253	53,160,800	1,412,568,221	18,576,663	1,205,327
1,503,487	11,611,327	122,105,475	164,497,382	36,973,497	12,199,253	55,600,800	1,524,491,221	22,688,329	5,263,460
1,910,000	0	0	0	0	0	0	0	5,910,000	4,336,160
1,195,100	0	0	0	0	0	0	0	14,195,100	0
1,000,000	0	0	0	0	0	0	0	21,000,000	0
3,800,000	0	0	0	0	0	0	0	45,800,000	0
3,905,100	0	0	0	0	0	0	0	86,905,100	5,689,500
0	0	10,000,000	2,000,000	0	0	0	12,000,000	0	0
0	0	0	1,388,400	0	0	0	1,388,400	0	0
0	0	10,000,000	3,388,400	0	0	0	13,388,400	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3,905,100	0	10,000,000	3,388,400	0	0	0	13,388,400	100,293,500	5,689,500
3,775,100	510,000	15,420,000	11,394,600	1,100,000	540,000	2,440,000	31,404,600	11,629,500	-1,577,834
1,598,387	11,611,327	112,105,475	161,108,982	36,973,497	12,199,253	55,600,800	389,599,334	1,424,197,721	16,998,829